

## マキシス(MXSC)

## 5Gに向けた設備投資支出を増やしつつも営業キャッシュフローの黒字を確保し、バランスの取れた成長を目指す

マレーシア | 通信事業者 | 業績フォロー

## フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG MAXIS:MK | REUTERS MXSC.KL

- 2019/12 通期は、売上高が前期比 1.3%増、通信サービス売上高が同 3.4%減、純利益が同 14.7%減、調整後 EBITDA が同 2.0%減だった。
- ポストペイドサービス事業は、売上高が同 3.3%減。登録ユーザー数は同 14.7%増だったが、ARPU が同 5.2%減だったことが響いた。
- 5G 通信時代に向けた設備投資を増やしつつも営業キャッシュフローの黒字を確保することでバランスの取れた成長を目指している。

## What is the news ?

2/20発表の2019/12通期は、売上高が前期比1.3%増の93.13億MYR、通信サービス売上高が同3.4%減の77.97億MYR、純利益が同14.7%減の15.19億MYRとなった。ネットワーク回線のシェアリング契約終了、およびプリペイドサービス収入減が通信サービス減収の主な要因だった。為替変動による未実現損益や無線周波数帯域の割当てに係るライセンス期間更新の前払い費用など特別項目を除く調整後EBITDAは、上記の減収要因により同2.0%減の37.68億MYRとなったが、サービス売上高に対する調整後EBITDAマージン比率は同0.7%ポイント上昇の48.3%となった。資本的支出は次世代5G通信への準備や企業向けビジネスへの投資追加により同16.9%増の12.13億となったが、営業キャッシュフローは同1.4%増の33.79億MYRとなった。

セグメント別の業績は以下の通り。ポストペイドサービス事業の売上高が同3.3%減の39.39億MYR、プリペイドサービス事業の売上高が同6.9%減の31.36億MYR。ポストペイドサービスは登録ユーザー数が同14.7%増となったものの、1ユーザー当たり平均収入 (ARPU) が同5.2%減となったことが響いた。その一方、プリペイドサービスは、ポストペイドへの移行によるSIMの統合が継続したこともあり、登録ユーザー数が同5.8%減となった。1ヶ月当たりデータ利用量は、ポストペイドが同26%増、プリペイドが同55%増と堅調に伸びた。

## How do we view this ?

2020/12通期の会社計画は2020年以降の限界税率変更や前期の設備投資増加に伴う減価償却費の増加を考慮し、以下の通りである。通信サービス収入とEBITDAは前期比0-1桁台前半の伸び率。資本的支出 (過去3年間は約10億MYRで推移) は、コアとなる通信ネットワーク向け約10億MYRに加え、ブロードバンドと企業向けビジネスの成長機会への支出を追加する。営業キャッシュフロー (帯域幅に係る前払いのフィー割当金は除く) は前期並みの水準。同社は5Gコンソーシアムの提案に関し、MCMC (マレーシア通信およびマルチメディア委員会) への関与、および新型コロナウイルスが業績に与える影響については、時期尚早ということもあり会社計画には織り込んでいない。2020/12通期市場予想は、売上高が前期比0.3%増の93.37億MYR、当期利益は同4.3%増の15.85億MYR。

## 業績推移

※参考レート 1MYR=26.36円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高 (百万MYR)	9,419	9,192	9,313	9,337	9,553
当期利益 (百万MYR)	2,180	1,779	1,519	1,585	1,665
EPS (MYR)	0.28	0.23	0.19	0.20	0.21
PER (倍)	19.25	23.43	28.37	26.95	25.67
BPS (MYR)	0.89	0.91	0.90	0.91	0.93
PBR (倍)	6.06	5.92	5.99	5.92	5.80
配当 (MYR)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
配当利回り (%)	3.71	3.71	3.71	3.71	3.71

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR)	0.20	(予想はBloomberg)
終値 (MYR)	5.39	2020/2/24

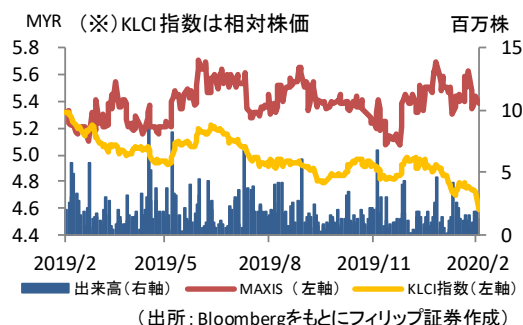
## 会社概要

1993年設立の移動通信サービス事業会社。経営権を握る筆頭株主はマレーシア人インド系実業家のアナンダ・クリシュナン傘下の企業であり、同氏はマレーシアの衛星放送最大手のアストロも所有している。

1999年にホットリンクというプリペイド式の携帯電話サービスの運営を契機にモバイルサービスを展開。また、2005年から3G LTEネットワークサービスの提供を開始し、2013年に引き続きマレーシア国内初の4G LTEネットワークをローンチした。国内にブロードバンド高速ネットワークを提供するほか、固定電話回線、国際ゲートウェイサービスなども手掛けている。

## 企業データ (2020/2/25)

ベータ値	1.00
時価総額(百万MYR)	42,231
企業価値=EV (百万MYR)	50,596
3か月平均売買代金(百万MYR)	8.5



## 主要株主 (2020/2)

1. ビナリアンGSM	62.34
2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	11.24
3. SKIM AMANAH SAHAM BUMIPUTERA	8.05

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>